

八幡で生まれて、八幡で育って四十五年

稲葉健二の

ひと言メッセージ

第2号

稲葉健二後援会
市川市八幡2-5-17
TEL 336-1785
FAX 302-3988

内部討議資料
4月27日(日)
市川市議選の
投票日です!

小さい頃から、みんなで騒ぐのが大好きで、目立ちたがり屋。そんな僕だから、お祭りが大好き。今の子どもたちにも、お祭りの楽しさをわかってほしくて、地元のいろいろなお祭りのお手伝いをしています。

やわたまつり、やわたふれあいまつり、自治会の盆踊り、子ども会のもちつき大会。

そんなときに、いつも気になるのが、会場設営やお神輿の運行の妨げになる違法駐輪の自転車。子どもたちがケガしないか、無事にお祭りが終わるだろうかってヒヤヒヤします。

それどころか、こんなに違法駐輪の自転車が放置されていて、いざとゆうとき、緊急車両が通行できない、大地震のときに逃げ道が確保できない、なんて考えたら身の毛がよだつ思いです。

お年寄り、身体的にハンデを持っている方、そんな方たちにも絶対に邪魔な存在ですよね。そんなところも、変えて行かなくちゃ、なんて考えてるんです。

駐輪問題、こんな考え方で、少しでも解消できたらいいのにな。

その1

そもそも、自転車で駅まで来て、電車に乗って通勤、通学。これって鉄道会社のお客様ですよね？ だったら、スーパーみたいにお客様のための駐輪場って鉄道会社が用意すべきでは… 交渉したいと思います。

その2

市で用意している駐輪場、駅から遠いところも少なくありません。だから、少しでも時間を節約したい朝の通勤、通学タイム。つつい駅の周辺に違法駐輪ってなことに。だから提案したいのが「駅前乗り捨てシステム」。朝は駅のロータリーに乗り捨て、係のおじさんがまとめてトラックで契約駐輪場へ。

帰宅時には時間に余裕があるので駐輪場まで行って、自分の契約駐輪場所から自分の自転車で帰る。検討したいと思います。

その3

駅前商店会との連携。不景気なこの時代、空き店や空きスペースを利用して駐輪場を。その代わりに、利用者は帰宅時にその商店会でお買い物を。そうすれば駐輪代も割引に。商店会も繁栄。これも検討の余地あります。

以上、いつも気になっていた駐輪問題の解決策を僕なりに考えてみました。未熟な考えかもしれませんが、もっと勉強して、ぜひ解決したいって思います。



新しい市川に向けて、がんばります、提案します。

市川に生まれ、市川に育ち、市川に住んでいるからこそ感じる事がたくさんあります。

いろいろな活動をしてきた中で、これからの市川のために、また、次代のためにやらなければならない事がたくさんあります。

新しい市川に向かって、新しい風が吹くように全力で進んでいきたいと思っています。

時代と共に変わってゆくもの、変わらずに大事に守って行くものを見極めて、一つ一つ丁寧に進むことが今の時代に求められていること。

「変わらなきゃ、市川」。今、その時代が来ました。一緒に新しい市川を創っていきましょう。

僕の4年越しの市政への片思い、皆さんのお力でかなえさせてください。

絶対に泣き言、言いません！ さぼりません！ 思いっきり働きます！